



平成 25 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 前田 健司  
(コード番号:大証JASDAQ2134)  
問 合 先 取締役 経営管理本部 本部長 桐島 悠爾  
(TEL. 06-6205-5611)  
U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp/>

### 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 3 月期(第 21 期)の内部統制報告書に開示すべき重要な不備がある旨を記載しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容及び事業年度末までに是正できなかった理由

当社は、下記に記載した財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。したがって、当連結会計年度末日時点において、当社グループの財務報告に係る内部統制は有効ではないと判断いたしました。

#### 記

当社は、下記の項目に起因して、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結財務諸表及び財務諸表(以下、連結財務諸表等という。)を作成するための全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスに係る内部統制の整備及び運用が不十分であったため、当連結会計年度の連結財務諸表等に関連して、監査人より次の指摘を受けました。

- ・ 継続企業の前提に関する評価に際して、客観性を有した事業計画および資金計画を策定することができなかったこと。
- ・ 経理部門の人員の退職により、適切な経理・決算業務のために必要かつ十分な専門知識を有した社内の人材が不足していること。

当社は、外部の専門家に依頼することで決算処理を適切に遂行する体制は整えておりましたが、上記監査人の指摘が当連結会計年度末日までに是正されなかったこと、かつ、これらが財務報告に与える重要性が高いものと判断し、「開示すべき重要な不備」と判断しました。



当連結会計年度の末日までに是正されなかった理由は、決算処理を適切に遂行するための能力及び経験を有した社内の人材の補充を行なうことができず、さらに、当連結会計年度末日以降の経理関係者の退職が重なり、外部の専門家に依頼する体制は整えていたものの、適切な社内の人材を従事させる体制を構築することができなかつたためであります。

## 2. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、全社的な内部統制の強化・徹底を行うとともに、本書提出日現在、適切な経理、決算業務のために必要かつ十分な知識を有した人材を採用する予定としており、翌連結会計年度においては、適切な内部統制を整備し運用する方針であります。

## 3. 連結財務諸表等に与える影響

監査人より指摘を受けた必要な修正はすべて財務諸表及び連結財務諸表に反映しており、これによる財務諸表監査に及ぼす影響はありません。

## 4. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上